

月	期	主な行事	時間	題材名	ねらい	学習活動	生徒への働きかけ
4		始業式 学級開き	1	新学級への願い (1)ーウ	中堅学年としての自覚をもち、新しい環境で新しい仲間とよりよい学校生活を送ろうとする意欲を高める。	担任の願いを聞き、一年後どんな自分になりたいか書き出す。学級の前で一年の決意を伝える。	ペープサートやキーワードなどを用いて具体的な姿を生徒がイメージできるようにする。
			2	組織づくり (1)ーイ	学級の役割を担う意義を理解し、責任をもって役割をやりきろうとする態度を育てる。	立候補して役割に対する決意を仲間に語る。仲間の公約を聞き自分の考えを伝える。	役割を分担することについて考えさせる。仲間の決意を語る表情や姿から役割に対する願いに気付かせる。
			3	自分にふさわしい 学習方法 (3)ーア	学習方法を振り返り、日々の積み重ねを大切にしようとする態度を育てる。	自主学習ノートを交流し、工夫点やよさを取り入れる。やり方のポイントを知る。	様々な学習方法や、実際の生徒のノートを提示してイメージできるようにする。
5	1期	小浜体験学習	4	活動の充実 (1)ーア	役割を自覚し、仕事を見だし主体的に活動しようとする態度を育てる。	自分の役割の仕事内容をプリントに書き出して交流し、仲間からアドバイスを受ける。	工夫して活動していた仲間の例を示し、役割に対する願いに気付かせる。
			5	学級目標づくり (1)ーイ	話し合い活動を通して、仲間の意見を尊重しながら自分の考えを深めようとする態度を育てる。	一年後になってほしい個人、集団の姿について出し合う。様々な意見をまとめて、学級目標を設定する。	自分の考えだけでなく、仲間の考えを尊重して合意形成をしながら話し合うことができる姿を価値付ける。
			6	小浜体験学習の 目指す姿 (1)ーイ	体験学習の意義と心構えを共通理解し、目指す学級の姿に近づくために、自分の役割に責任をもって臨もうとする態度を育てる。	体験学習で学級集団をどのように高めていきたいかを明らかにする。具体的にどの場面で自分が何をやるかをしおりに書き込む。	しおりをしながら、自分が責任をもって動くことができそうなことを書き込ませる。集団としての高まりを実感できそうな場面を伝える。
			7	小浜体験学習の振り返り (2)ーア (1期の振り返り)	体験学習の成果と課題を明らかにし、自分の頑張りやよさに気づき、日常活動にいかそうとする態度を育てる。	具体的な場面を絞って、その時の気持ちを振り返る。自分が頑張れたことを伝えたり、仲間からよさを伝えてもらったりする。	班の中で仲間のよさを伝えさせ、学級の中で大切にされているという実感をもち、日常活動へ目を向けられるように話し合いを仕組む。
6	2期	生徒会 キャンペーン 前期中間テスト	8	日常活動の充実 (学級力アンケート考察) (1)ーア	学級力アンケートをもとに1期の学級の高まりを見つめ、課題を明らかにし、問題解決していこうとする態度を育てる。	学級力アンケートの結果から現在の学級の様子について考察し、高まり、課題点を交流する。課題の解決のための方策を考える。	アンケートの結果と具体的な事実を結びつけ、学級目標で目指している個人、集団の姿を視点に考えさせる。
			9	給食指導 栄養面 (2)ーオ	給食の献立をもとに、栄養のバランスがとれた健康的な食生活についての理解を深める。	給食の献立をもとに、使われている食材を栄養群ごとに分ける。どの食品群にどのような特徴があるかを知る。	中学生で特に必要になる食品群に気付かせ、毎日の家庭での食事でも意識できるように啓発する。
			10	生徒会キャンペーンの 振り返り (1)ーウ	全校の活動に対して自分達の学級の貢献度を振り返り、学級への所属意識を深める。	生徒会キャンペーンの成果と課題を明らかにする。中堅学年としての姿を全校に示せたかを振り返る。	生徒会員の一人として頑張ることができた事実から、全校生徒が丸となって校風をつくっていることを実感させる。
			11	進路計画の見直し (3)ーウ	1年生で立てた進路計画を見直し、職業や将来の生活についての興味関心を深める。	「生きる」を用いて、1年生の時の夢と今の夢を比べる。進路計画をもう一度立て直す。	夢が同じ生徒、変わった生徒双方に対して声をかけ、将来について考えさせる。
7	三者懇談		12	体育祭の計画 応援リーダー選出 (1)ーウ	体育祭での中堅学年としての役割を自覚し、学級が丸となって活動しようとする意欲を育てる。	2年生として体育祭でどのように貢献できるかを交流する。応援リーダーを選出し、公約に対して意見を言う。	応援リーダーをどのように支えるかなど、具体的な行動の中身について考えさせる。
			13	災害への対応(防災) (2)ーエ	家族や地域の人を守り助けるために、自分達に何ができるかを考えられる力や態度を育てる。	地域消防団の方から地域防災の話聞く。学校が避難場所になったときに、中学生として何ができるかを考え発表する。	地域の方と連携して、地域からの中学生への期待を実感させる。事前に自助や共助の意義について教える。
			14	前期前半のまとめ (学級力アンケート考察) (1)ーア	学級力アンケートをもとに前期前半の学級の高まりを見つめ、課題を明らかにし、問題解決していこうとする態度を育てる。	学級力アンケートの結果から現在の学級の様子について考察し、高まり、課題点を交流する。課題の解決のための方策を考える。	アンケートの結果と具体的な事実を結びつけ、学級目標で目指している個人、集団の姿を視点に考えさせる。
9	3期	体育祭 前期期末テスト 後期生徒会選挙 前期 まとめの活動	15	体育祭の取組 (1)ーウ	一つの目標に向かって学級がまとまって取り組もうとする態度を育てる。	体育祭の勝利に向けて必要な役割を出し合い、役割分担をする。	学級の目指す姿を明らかにし、一人一人が役割をもてるようにする。
			16	体育祭の中間振り返り (1)ーア	学級がまとまって取り組もうとする態度や、学級に貢献しようとする態度を育てる。	取組中の成果や課題を出し合い、頑張っていた仲間を認める。成功に向けて自分のできることを再度考える。	学級のために貢献している生徒の姿を取り上げ、その時の気持ちや願いを語らせ、共感できようにする。
			17	体育祭の振り返り (2)ーア	学級みんなで目標に向かってまとまって取り組めた実感をもたせ、学級への所属感を深める。	具体的な場面を絞って、その時の気持ちを振り返る。自分が貢献できたことを仲間の前で発表する。	目標に向かって一つになれている場面の写真を示し、全員が同じような気持ちになれるようにする。
			18	後期組織づくり (1)ーイ	前期の自分を振り返り、責任をもって役割をやりきろうとする態度を育てる。	前期の自分の頑張りをもとに公約を伝える。仲間の公約を聞き、さらによくしていくために提案する。	前任者からの要望を織り交ぜながら、学級目標達成のための組織づくりにしていく必要性を実感させる。

月	期	主な行事	時間	題材名	ねらい	学習活動	生徒への働きかけ
10	3期	後期の動きだし 学級文化活動	19	市合唱祭に向けて (1) —ウ	市合唱祭に向けて見通しをもち、仲間と協力して活動を築きあげようとする態度を育てる。	市合唱祭に2年生代表として選出されるための取組を考え、どのような合唱にしていきたいか願いを交流する。	自分達の学級のよさや、合唱のどんな点をアピールしたかを考えさせる。
			20	前期のまとめ (学級力アンケート考察) (1) —ア	学級力アンケートをもとに前期の学級の高まりを見つめ、課題を明らかにし、問題解決していこうとする態度を育てる。	学級力アンケートの結果から現在の学級の様子について考察し、学級の高まりや課題を交流する。課題の解決のための方策を考える。	アンケートの結果と具体的な事実を結びつけ、学級目標で目指している個人、集団の姿を視点に考えさせる。
	合唱祭に向けて	21	係活動の充実 (1) —ア	役割を自覚し、仕事を見だし主体的に活動しようとする態度を育てる。	自分の役割の仕事内容をプリントに書き出して交流し、仲間から助言を受ける。	工夫して活動していた仲間の例を示し、役割に対する願いに気付かせる。	
		22	合唱祭の計画 (1) —ウ	合唱祭に向けて見通しをもち、仲間と協力して活動を築きあげようとする態度を育てる。	願いを出し合い合唱祭で目指す合唱を明らかにし、どの曲が自分達の学級らしさを表現できるか話し合う。	合唱祭後をイメージさせ、自分がどんな気持ちになっていきたいかを想起させて考えさせる。	
11	4期	後期中間テスト	23	4期中間振り返り (1) —ア	活動の本質を再認識し、主体的に活動しようとする態度を育てる。	取組中の成果や課題を出し合い、活動のねらいに立ち返って今後の方向を話し合う。	一人でも頑張る生徒の姿を取り上げ、気持ちや願いを語らせ、共感させる。
			24	異性を尊重する (2) —イ	異性間の体の発育発達の違いを理解し、異性を尊重して生活しようとする態度を育てる。	思春期の体の変化と、性に対しての男女間の意識の違いを知る。自分の行動を振り返り、用紙に書き込む。	事前にアンケートをとっておき、性に対する意識の違いに気付かせる。
	合唱祭	25	合唱祭の取組中間振り返り (1) —ア	学級がまとまって取り組もうとする態度や、学級に貢献しようとする態度を育てる。	取組中の成果や課題を出し合い、頑張っていた仲間を認める。成功に向けて自分のできることを再度考える。	学級のために貢献している生徒の姿を取り上げ、その時の気持ちや願いを語らせ、共感できるようにする。	
		26	職場体験で学んだこと (3) —イ	働くことの楽しさや価値を見だし、学んできたことを今後の生活でいかそうとする積極的な態度を育てる。	体験先で学んだことを新聞にまとめ、全体の前で発表する。今後の生活で鍛えていくべきことを交流する。	全員に共通していることを黒板に書き出すことで、勤労観についてまとめる。新聞を自由に読むことができる時間を確保する。	
		三者懇談	27	合唱祭の振り返り (2) —ア	学級みんなで目標に向かってまとまって取り組めた実感をもたせ、学級への所属感を深める。	具体的な場面を絞って、その時の気持ちを振り返る。自分が貢献できたことを仲間の前で発表する。	目標に向かって一つになっての場面の写真を示し、全員が同じような気持ちになれるようにする。
			28	異性ととのつきあい方 (2) —ウ	人間関係の面白さと大切さを実感させ、望ましい人間関係を構築しようとする態度を育てる。	男女間の関わりについて振り返らせ発言させる。望ましい人間関係について、異性という視点で考えさせる。	男女間の人間関係の希薄さや偏った考え方に気付かせ、互いを知ることで共感的に捉えるよう助言する。
29	後期前半の振り返り (学級力アンケート考察) (1) —ア		学級力アンケートをもとに後期前半の学級の高まりを見つめ、課題を明らかにし、問題解決していこうとする態度を育てる。	学級力アンケートの結果から現在の学級の様子について考察をし、高まり、課題点を交流する。課題解決のための方策を考える。	アンケートの結果と具体的な事実を結びつけ、学級目標で目指している個人、集団の姿を視点に考えさせる。		
1	生徒会 キャンペーン	30	後期後半の見通し 新年の抱負 (2) —ア	なりたい自分を明らかにし、目標に向かって意欲的に生活しようとする態度を育てる。	学級解散式までの3ヶ月で学級目標を達成させるために取り組んでいくことを出し合い、見通しをもつ。	仲間関係、係活動など様々な視点から学級目標について考えることができるように声をかける。	
		31	日常活動の質的向上 (誇りある活動) (1) —ア	学級目標の達成に向けて自分達の手で学級の文化を形成していこうとする意欲を育てる。	自分達の学級のよさを出し合い、胸を張ることができるようにしていきたい活動とその具体を考える。	課題克服ではなく、長所を伸ばして自分たちの学級らしさを実感できるようにする。	
		32	文化継承の会に向けて (1) —ウ	中堅学年としての一年を振り返り、来年度の多中を背負う自覚と、先輩から伝統を引き継ごうとする態度を育てる。	2年生のよさについて出し合う。多中の伝統について考える。どのようなことを先輩から学んだのか、引き継ぎたいかを話し合う。	活動が伝統的なだけではなく、活動を生み出している願いのモチベーションが伝統的なだということに気付かせる。	
2	5期	後期期末テスト	33	生徒会キャンペーンの振り返り (1) —ウ	全校で目指した活動に対して自分達の学級の貢献度を振り返り、全校への所属意識を深める。	生徒会キャンペーンの成果と課題を明らかにする。中堅学年として姿を全校に示せたかを振り返る。	生徒会員の一人として頑張った事実から、全校生徒が丸となって校風をつくっていることを実感させる。
			34	学級目標達成に向けて (学級力アンケート考察) (1) —ア	学級力アンケートをもとに学級目標達成に向けて課題を明確にし、問題解決していこうとする態度を育てる。	学級力アンケートの結果から現在の学級の様子について考察をし、高まり、課題点を交流する。課題の解決のための方策を考える。	アンケートの結果と具体的な事実を結びつけ、学級目標で目指している個人、集団の姿を視点に考えさせる。
		前期 生徒会選挙	35	前期生徒会選挙に向けて (1) —ウ	最高学年として学校を引っ張っていく自覚と、よりよい生活を築いていこうとする意欲を育てる。	立候補者の公約を聞き、公約に対して意見を伝える。選挙活動について学級としてどのように立候補者を支えて活動するかを話し合う。	立候補者の公約から、学校をよりよくしていきたいという気持ちに気付かせ、生徒会員、来年度3年生の一人として自分の願いをもたせる。
			36	ポートフォリオの作成 (2) —ア	これまでの姿を振り返り、これからの自己の生き方について考え、実践しようとする態度を育てる。	一年間の自分の成長と、さらに伸ばしていきたい力についてまとめる。班で交流し、仲間からのアドバイスを受ける。	仲間を肯定的な視点で見ることを大切にさせる。一人一人に対して欠点ではなく、相手を成長させるための思いやりの支店にさせる。
3	修了式	37	誇りある活動振り返り (1) —ア	学級目標を意識して活動して醸成された学級の文化から所属感を深める。	誇りある活動で高まったことを交流する。学級への気持ちを交流する。	学級への愛やプライドが含まれる発言を取り上げ、共感できるようにする。	
		38	1年間のまとめ (2) —ア	自己理解を深め、自分のよさに気付き、それをいかそうとする態度を育てる。	仲間の前で自分の成長を語る。仲間から発表者の成長やよさを受け取る。	抽象的な話にならないように、具体的な場面などを想起させて仲間からの発言を引き出す。	
		39	学級解散式の計画 (2) —ア	仲間や担任への感謝の念をもって行動しようとする態度を育てる。	30分間をどのような流れにするのか意見を出し合う。	自分や相手がどのような気持ちで最後の時間を過ごしたいかを考えさせる。	